

表：学校施設の劣化状況調査結果（令和2年度調査）

■：建築後50年以上 ■：建築後30年～49年

（令和3年3月時点）

施設名	通し番号	建物名	延床面積 (㎡)	劣化状況評価					健全度 (100点満点)
				屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
小学校									
1 一関小学校	1	校舎1	4,974	C	D	D	C	C	20
	2	校舎2	334	C	C	C	C	C	40
	3	体育館	964	C	D	D	C	C	20
2 山目小学校	4	校舎1	6,762	A	B	A	A	A	93
	5	校舎2	188	A	A	A	A	A	100
3 赤荻小学校	6	体育館	1,363	A	B	A	A	A	93
	7	校舎	2,792	B	C	C	B	B	52
4 中里小学校	8	体育館	963	B	C	B	B	B	65
	9	校舎1	2,479	C	D	D	C	C	20
5 滝沢小学校	10	校舎2	250	A	A	A	A	A	100
	11	体育館	895	A	A	A	A	A	100
6 南小学校	12	校舎	2,715	B	C	C	B	B	52
	13	体育館	978	B	A	B	B	B	82
7 弥栄小学校	14	校舎	6,418	B	B	B	B	B	75
	15	体育館	1,458	B	B	B	B	B	75
8 萩荘小学校	16	校舎	2,070	B	B	B	B	B	75
	17	体育館	916	B	B	B	B	B	75
9 畿美小学校	18	校舎1	5,493	B	B	B	A	A	81
	19	校舎2	353	B	A	A	A	A	98
	20	体育館	1,458	B	A	B	A	A	89
10 舞川小学校	21	校舎	1,954	A	C	D	C	C	34
	22	体育館	696	B	C	B	B	B	65
11 大原小学校	23	校舎	2,676	B	B	C	B	B	62
	24	体育館	975	B	B	B	B	B	75
12 大東小学校	25	校舎	3,481	A	A	A	A	A	100
	26	体育館	1,019	A	B	A	A	A	93
	27	プール上屋	750	A	A	A	A	A	100
13 興田小学校	28	校舎	4,121	A	A	A	A	A	100
	29	体育館	1,076	A	A	A	A	A	100
	30	プール上屋	750	A	A	A	A	A	100
14 猿沢小学校	31	校舎	3,224	B	B	B	A	A	81
	32	体育館	1,022	B	A	A	A	A	98
	33	プール上屋	838	B	A	B	A	A	89
15 千厩小学校	34	校舎	2,191	C	C	C	B	B	49
	35	体育館	720	B	B	B	B	B	75
	36	校舎	5,760	A	A	A	A	A	100
16 東山小学校	37	体育館	1,270	A	A	A	A	A	100
	38	校舎1	3,854	B	A	A	A	A	98
	39	校舎2	571	A	A	A	A	A	100
17 川崎小学校	40	校舎3	429	A	A	A	A	A	100
	41	体育館	975	B	A	A	A	A	98
	42	軽運動場	211	A	A	A	A	A	100
18 藤沢小学校	43	校舎	2,512	B	C	D	C	C	32
	44	体育館	702	B	C	C	C	C	43
	45	校舎	4,723	C	D	D	C	C	20
19 黄海小学校	46	体育館	1,127	B	D	C	C	C	34
	47	武道館	226	C	D	C	C	C	31
	48	校舎	2,660	B	D	D	C	C	23
20 新沼小学校	49	体育館	750	C	B	B	B	B	72
	50	校舎1	1,260	A	B	A	A	A	93
	51	校舎2	600	B	C	B	B	B	65
52	体育館	650	B	B	B	B	B	75	

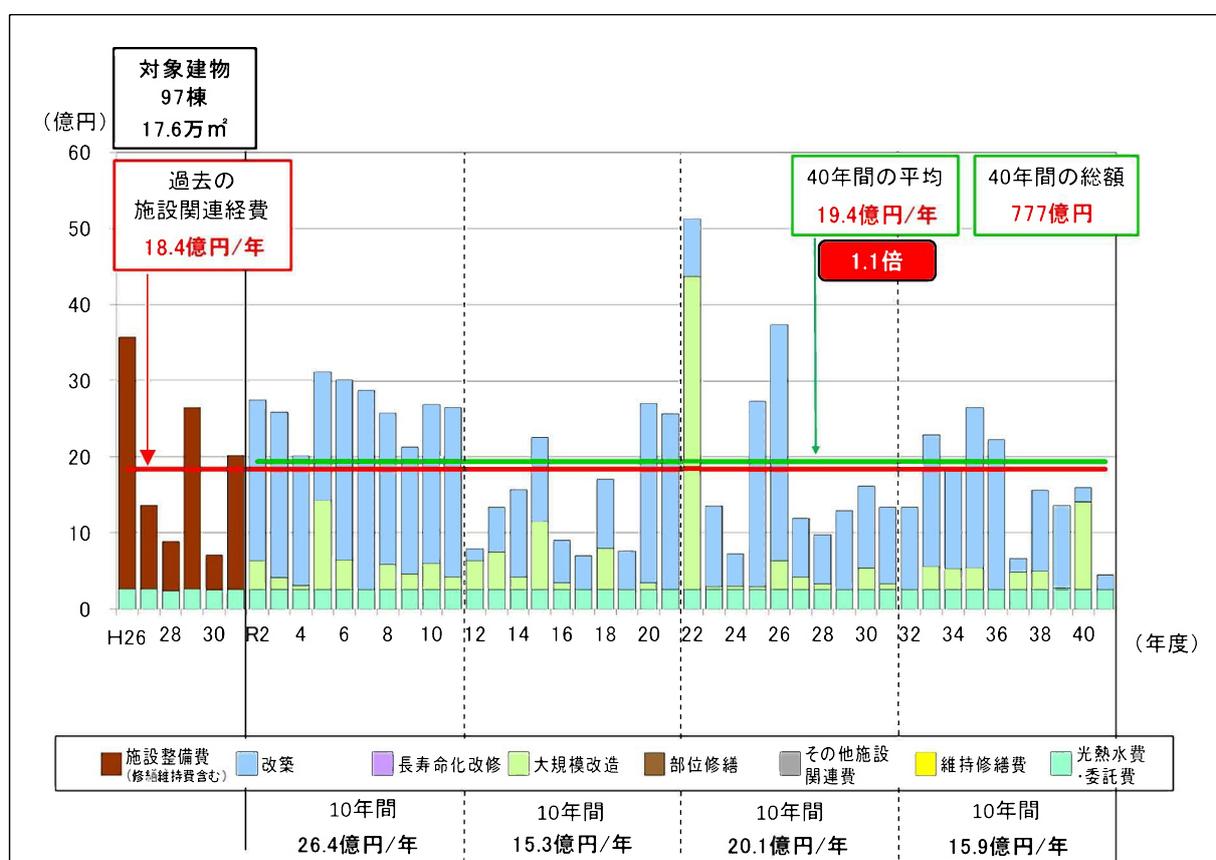
施設名	通し番号	建物名	延床面積 (㎡)	劣化状況評価					健全度 (100点満点)
				屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
中学校									
1 一関中学校	53	校舎1	3,675	C	D	D	C	C	20
	54	校舎2	216	B	B	B	B	B	75
	55	体育館	1,432	B	B	B	B	B	75
	56	武道館	448	A	A	A	A	A	100
2 磐井中学校	57	校舎1	4,700	A	A	A	A	A	100
	58	校舎2	2,414	B	C	A	A	A	81
	59	体育館	1,665	B	A	B	B	B	82
3 一関東中学校	60	武道館	448	A	A	A	A	A	100
	61	校舎	2,977	A	B	A	A	A	93
	62	体育館	1,222	A	A	A	A	A	100
4 桜町中学校	63	校舎1	3,113	C	C	C	B	B	49
	64	校舎2	1,207	A	A	A	A	A	100
	65	体育館	1,417	B	B	B	B	B	75
5 萩荘中学校	66	校舎	3,023	B	C	D	C	C	32
	67	体育館	1,167	A	A	A	A	A	100
6 畿美中学校	68	校舎	2,891	B	C	B	B	B	65
	69	体育館	1,372	B	B	B	B	B	75
7 舞川中学校	70	校舎	1,347	B	C	D	D	C	28
	71	体育館	858	B	C	B	B	B	65
8 花泉中学校	72	校舎	6,037	B	B	A	A	A	91
	73	体育館	1,819	B	A	A	A	A	98
	74	武道館	651	C	B	B	B	B	72
9 大東中学校	75	校舎	3,693	B	C	B	A	A	71
	76	体育館	1,428	B	B	B	A	A	81
	77	プール上屋	741	B	B	C	A	A	68
10 千厩中学校	78	校舎	5,669	B	B	B	B	B	75
	79	体育館	1,555	B	A	B	B	B	82
	80	武道館	588	B	B	A	A	A	91
11 東山中学校	81	校舎1	2,180	C	C	D	C	C	29
	82	校舎2	1,405	A	A	A	A	A	100
	83	体育館	1,202	A	A	A	A	A	100
	84	武道館	417	C	C	D	C	C	29
12 室根中学校	85	校舎1	3,581	C	D	D	C	C	20
	86	校舎2	246	B	C	C	B	B	52
	87	体育館	1,125	B	C	C	C	C	43
	88	武道館	427	B	C	B	B	B	65
	89	部室	276	B	B	B	B	B	75
13 川崎中学校	90	校舎	3,020	A	A	A	A	A	100
	91	体育館	1,214	A	A	A	A	A	100
	92	武道館	400	B	A	B	B	B	82
14 藤沢中学校	93	校舎1	3,259	B	D	D	C	C	23
	94	校舎2	482	B	B	B	B	B	75
	95	体育館	1,155	C	C	C	C	C	40
	96	武道館	357	B	C	C	C	C	43
	97	部室	227	B	B	B	B	B	75

(2) 従来型の維持・更新コスト試算

一関市における今後の維持・更新コストを、文部科学省による「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を参考として試算すると建築後50年で改築する従来の更新周期とした場合、今後40年間の維持・更新コストは777億円（19.4億円/年）かかる結果となりました。

これは、直近6年間の施設関連経費18.4億円/年の1.1倍程度のコストとなります。10年単位で見た場合にはこれからの10年間で26.4億円/年と、今後40年の施設関連経費の中でもコストがかかる結果となっています。

図：今後の維持・更新コスト（従来型）



第3章 学校施設の基本的な方針等

1 学校施設等の規模・配置計画等の方針

学校規模の適正化については、児童生徒数の減少状況、義務教育施設の現状を踏まえ、より良い教育環境の確保に向け各地域単位を基本としながら進めてきました。

学校規模については、複式学級の解消を基本としながら、クラス替えが可能な1学年2学級以上が望ましいですが、学校統合にあたっては、地域の地理的状況等を勘案し、保護者・地域住民とともに検討を行い、地域の合意形成を図りながら進めてきました。

統合後の校舎については、可能な限り既存校舎施設の活用を図り、必要な改修等を行うことを基本とし、既存校舎の老朽化等により活用が難しい場合にあっては、新たに校舎等を整備してきました。

また、学校施設づくりでは「一関市公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針（平成25年3月策定）」に沿った木材の積極的な活用や「一関市資源・エネルギー循環型まちづくりビジョン（令和3年3月策定）」に沿った省エネ、再生可能エネルギー設備の導入など、環境に配慮した学校施設づくりを進めます。

2 改修等の基本的な方針

文部科学省による「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」（平成27年4月）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）等を参考としながら、「一関市公共施設等総合管理計画」、「一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画」、「一関市教育振興基本計画」及び「一関市教育振興基本計画後期計画」との整合を図っていきます。

本計画に基づく長寿命化については、中長期的なトータルコストの縮減、予算の平準化を実現するものであるため、適切な時期において大規模改造や長寿命化改修を実施するため、学校施設における建築物の目標使用年数を80年と定めます。

また、目標使用年数の80年を使用するために定期的に改修を行うこととし、建築後20年で大規模改造、建築後40年で長寿命化改修、建築後60年で大規模改造を実施します。

ただし、令和3年3月時点で既に建築後50年以上経過し、劣化度調査結果から算出した健全度が40点以下の学校については改築（建替）も含めて検討します。改築の検討にあっては、耐力度調査を行い、耐力度調査結果により総合的に判断します。

長寿命化改修・・・コストに配慮しながら環境性能や快適性を高めるなど社会的要求の変化
に対応する機能向上を目的とした整備

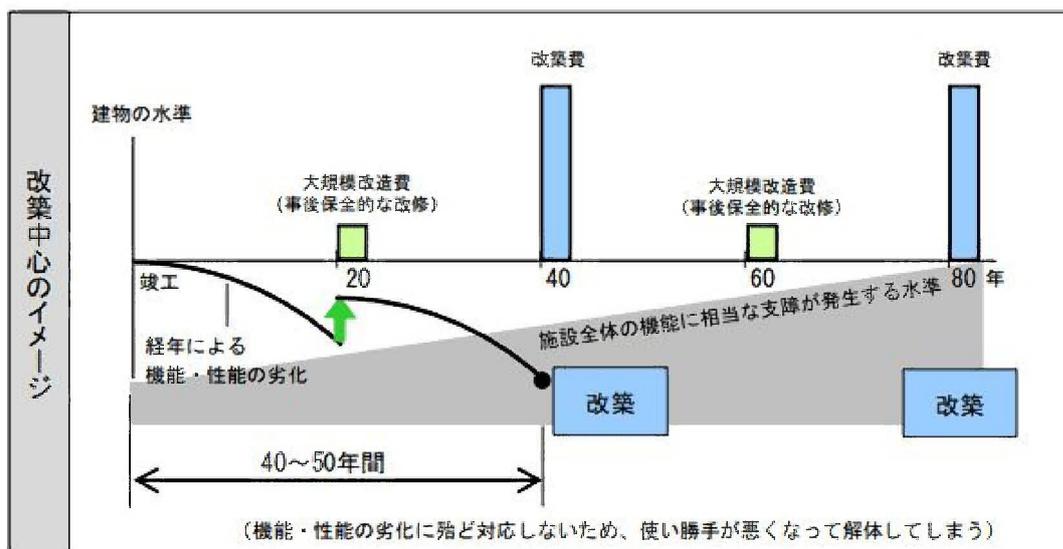
大規模改造・・・経年劣化による摩耗や機能低下に対する機能回復を目的とした整備
予防保全的な改修も含む

改築・・・建替

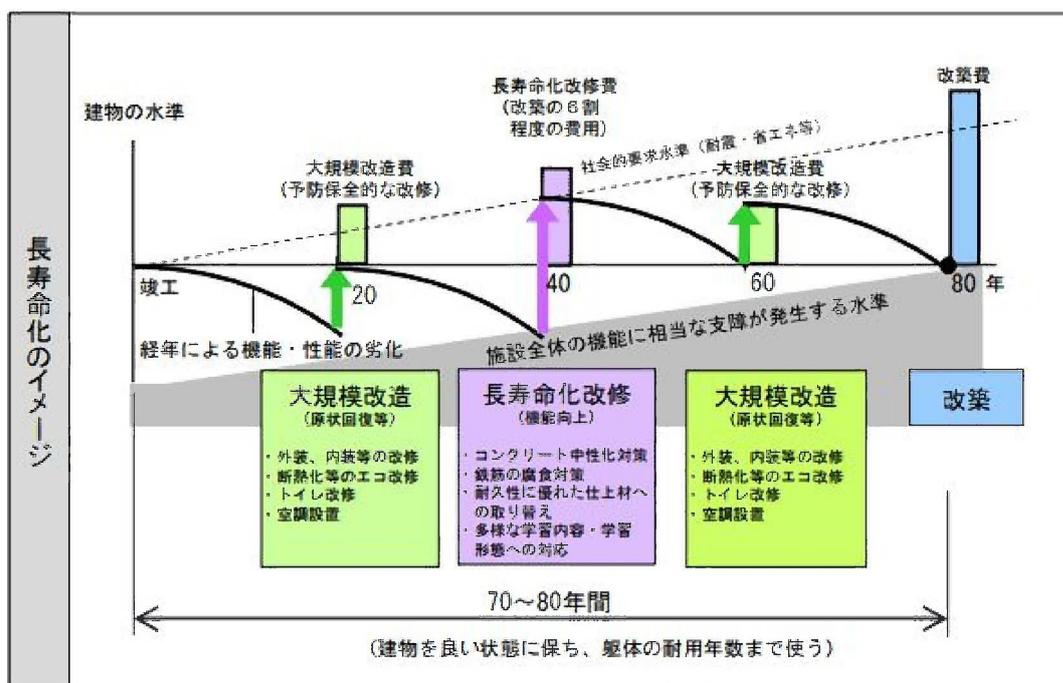
表：目標使用年数の設定と改修等の周期

区分	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	80年	建築後20年・建築後60年	建築後40年
体育館	80年	建築後20年・建築後60年	建築後40年

<従来の改修のイメージ>



<長寿命化改修のイメージ>



出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（文部科学省）

一関市公共施設等総合管理計画及び一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画における学校施設の管理に関する基本方針は次のとおりです。

「一関市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）

「一関市公共施設等総合管理計画 第1期中期計画」（平成30年6月）

【施設類型ごとの管理に関する基本方針】

学校教育系施設

今後の管理方針

- 学校施設は、各地域との協議により検討された統廃合の方向性に基づき、施設管理を行います。
- 国の学校施設の長寿命化に関する指針で示されている目標使用年数での利用を図るため、優先順位を決めて、維持補修を行うとともに大規模改修を行い、施設の長寿命化を図ります。
- 学校施設は、公共施設の中でも大規模な施設であり、地区の中核的な施設でもあることから、余裕教室の有効利用や更新を行う際には周辺施設との機能の複合化を図るなどの検討を行います。

一関市教育振興基本計画及び一関市教育振興基本計画後期事業計画における学校施設における整備方針は次のとおりです。

一関市教育振興基本計画（平成28年2月）

一関市教育振興基本計画後期事業計画（令和3年1月）

多様な学びを支える教育環境の整備・充実

子どもたちに、安全、安心でより良い教育環境を提供するため、学校施設の改修や教材等の充実を進めるほか、子どもたちを危険から守る体制の整備や多様な学習機会の確保に努めます。

(1) 教育環境の充実

① 安全、安心な教育施設の整備

子どもたちが良好な環境の中で学習することができるよう、老朽化した校舎の改修を進めます。また学校体育施設については、器具を定期的に点検し、安全を確保するとともに、計画的な整備充実に努めます。

② バリアフリー化の推進

ユニバーサルデザインの観点から、より安全な学校生活を送れるよう校舎等のバリアフリー化に努めます。

3 改修等の整備水準

既存施設の整備水準を把握するとともに、改修等における各部の整備水準を設定し、全体の建設コストと関連づけて適切な仕様を選択することとします。これにより建物の整備水準の統一化を図ります。

表：改修等における整備水準一覧

箇所	整備水準			修繕水準	
	改築(建替)	長寿命化改修	大規模改造	部位修繕	
外部仕上げ	屋根・屋上	外断熱保護防水	改質アスファルト防水	シート防水・塗膜防水	
		断熱あり	断熱あり	断熱なし	
	外壁	塗装	塗装改修		部分塗装
		断熱あり	断熱あり	断熱なし	
	外部開口部	スチールサッシ アルミサッシ	サッシ交換(カバー工法・はつり工法)		調整程度
		複層強化ガラス または強化ガラス	複層強化ガラス または強化ガラス	複層ガラス 強化ガラス	ガラス
その他	手すり ステンレス・アルミ	手すり改修(更新または塗装改修)		手すり	
内部仕上げ	内部仕上げ (教室等)	内装木質化	内装全面(更新)	床部分補修 壁・天井部分更新	
	衛生設備(トイレ)	洋式 節水型	洋式化 節水型		洋式化
		床 ドライ	床 ドライ化		床補修(既存)
家具類	新設	更新	再塗装	再塗装	
省エネ化	電気設備	LED照明	LED照明に交換		蛍光灯・水銀灯
	給排水設備	雨水・中水利用			
	空調設備	ヒートポンプ式 マルチエアコン	エアコン(新設、更新、移設)		エアコン(新設、更新、移設)
	太陽光発電	太陽光発電	太陽光発電更新		
バリアフリー	建築	車いす対応駐車場	車いす対応駐車場		
		スロープ	スロープ		
		手すり	手すり		
		誘導ブロック	誘導ブロック		
	衛生設備(トイレ)	多機能トイレ (車いす対応)	多機能トイレ (車いす対応)		
昇降機	車いす対応 エレベーター	エレベーター更新			
防災・防犯	防犯カメラ	防犯カメラ	防犯カメラ(設置・更新)		防犯カメラ
	自家発電	自家発電あり			
	その他(屋外)	かまどベンチ設置	かまどベンチ設置		

※改修範囲及び具体的内容は実施設計時に定めます。

4 維持管理の項目・手法等

建物の健全性を保つため、効率的に定期点検を実施し、令和2年度に実施した劣化状況調査結果を基準として劣化の状況などを判断して管理していきます。

第4章 学校施設長寿命化計画について

1 学校施設長寿命化計画について

劣化度調査の結果を踏まえ学校施設を建物別に以下の5つのグループに分類します。

グループ	内 容	劣化度調査結果
A	改築を検討	建築後 50 年以上で健全度 40 点以下の建物
B	長寿命化改修を検討	建築後 30～49 年で健全度 40 点以下の建物
C	大規模改造を検討	健全度が 40 点以上かつ C 評価が 3 部位以上の建物
D	部位修繕を検討	C 評価が 1 部位以上の建物
E	通常の維持修繕で対応	C 評価なし、A・B 評価のみ

特に各グループのうち A、B グループは詳細な調査を行い、調査結果と長期的利用の見通しを勘案したうえで改修等を進めます。

建物毎に 5 つのグループに分類した結果を次表に示します。

グループ	内 容	劣化度調査結果
A	改築を検討	建築後50年以上で健全度40点以下の建物
B	長寿命化改修を検討	建築後30～49年で健全度40点以下の建物
C	大規模改修を検討	健全度が40点以上かつC評価が3部位以上の建物
D	部位修繕を検討	C評価が1部位以上の建物
E	通常の維持修繕で対応	C評価なし、A・B評価のみ

表：建物別実施計画（小学校）

■ : 建築後50年以上

■ : 建築後30年～49年

(令和3年3月時点)

施設名	通し番号	建物名	構造※	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	健全度(100点満点)	グループ					
						西暦	和暦			A	B	C	D	E	
小学校															
1	一関小学校	1	校舎1	RC	3	4,974	1965	S40	55	20	●				
		2	校舎2	RC	3	334	1979	S54	41	40		●			
		3	体育館	S	1	964	1968	S43	52	20	●				
2	山目小学校	4	校舎1	RC	3	6,762	2014	H26	6	93					○
		5	校舎2	W	1	188	2014	H26	6	100					○
		6	体育館	S	1	1,363	2008	H20	12	93					○
3	赤荻小学校	7	校舎	RC	3	2,792	1985	S60	35	52				●	
		8	体育館	S	1	963	1987	S62	33	65				●	
4	中里小学校	9	校舎1	RC	3	2,479	1961	S36	59	20	●				
		10	校舎2	S	1	250	2012	H24	8	100					○
		11	体育館	S	1	895	2012	H24	8	100					○
5	滝沢小学校	12	校舎	RC	2	2,715	1992	H4	28	52				●	
		13	体育館	S	1	978	1992	H4	28	82					○
6	南小学校	14	校舎	RC	3	6,418	1999	H11	21	75					○
		15	体育館	S	1	1,458	1999	H11	21	75					○
7	弥栄小学校	16	校舎	RC	2	2,070	1989	H元	31	75					○
		17	体育館	S	1	916	1989	H元	31	75					○
8	萩荘小学校	18	校舎1	RC	2	5,493	2004	H16	16	81					○
		19	校舎2	W	1	353	2004	H16	16	98					○
		20	体育館	S	1	1,458	2004	H16	16	89					○
9	厳美小学校	21	校舎	RC	3	1,954	1979	S54	41	34		●			
		22	体育館	S	1	696	1981	S56	39	65				●	
10	舞川小学校	23	校舎	RC	2	2,676	1994	H6	26	62				●	
		24	体育館	S	1	975	1994	H6	26	75					○
11	大原小学校	25	校舎	RC	2	3,481	2009	H21	11	100					○
		26	体育館	S	1	1,019	2009	H21	11	93					○
		27	プール上屋	S	1	750	2011	H23	9	100					○
12	大東小学校	28	校舎	RC	2	4,121	2012	H24	8	100					○
		29	体育館	S	1	1,076	2012	H24	8	100					○
		30	プール上屋	S	1	750	2013	H25	7	100					○
13	興田小学校	31	校舎	RC	2	3,224	2005	H17	15	81					○
		32	体育館	S	1	1,022	2005	H17	15	98					○
		33	プール上屋	W	1	838	2005	H17	15	89					○
14	猿沢小学校	34	校舎	RC	3	2,191	1985	S60	35	49			●		
		35	体育館	S	1	720	1993	H5	27	75					○
15	千厩小学校	36	校舎	RC	2	5,760	2017	H29	3	100					○
		37	体育館	S	1	1,270	2017	H29	3	100					○
16	東山小学校	38	校舎1	RC	2	3,854	1973	S48	47	98					○
		39	校舎2	RC	2	571	2019	H31	1	100					○
		40	校舎3	RC	2	429	2019	H31	1	100					○
		41	体育館	S	1	975	1974	S49	46	98					○
		42	軽運動場	RC	1	211	2019	H31	1	100					○
17	川崎小学校	43	校舎	RC	3	2,512	1970	S45	50	32	●				
		44	体育館	S	1	702	1972	S47	48	43			●		
18	藤沢小学校	45	校舎	RC	3	4,723	1968	S43	52	20	●				
		46	体育館	S	2	1,127	1970	S45	50	34	●				
		47	武道館	S	1	226	1970	S45	50	31	●				
19	黄海小学校	48	校舎	RC	3	2,660	1974	S49	46	23		●			
		49	体育館	S	1	750	1990	H2	30	72				●	
20	新沼小学校	50	校舎1	W	2	1,260	2001	H13	19	93					○
		51	校舎2	S	1	600	1986	S61	34	65				●	
		52	体育館	S	1	650	1989	H元	31	75					○

※ W: 木造
S: 鉄骨造
RC: 鉄筋コンクリート造

小学校 建物 計 7 3 2 7 33
小学校 建物 計 52

グループ	内 容	劣化度調査結果
A	改築を検討	建築後50年以上で健全度40点以下の建物
B	長寿命化改修を検討	建築後30～49年で健全度40点以下の建物
C	大規模改修を検討	健全度が40点以上かつC評価が3部位以上の建物
D	部位修繕を検討	C評価が1部位以上の建物
E	通常の維持修繕で対応	C評価なし、A・B評価のみ

表：建物別実施計画（中学校）

■：建築後50年以上

■：建築後30年～49年

（令和3年3月時点）

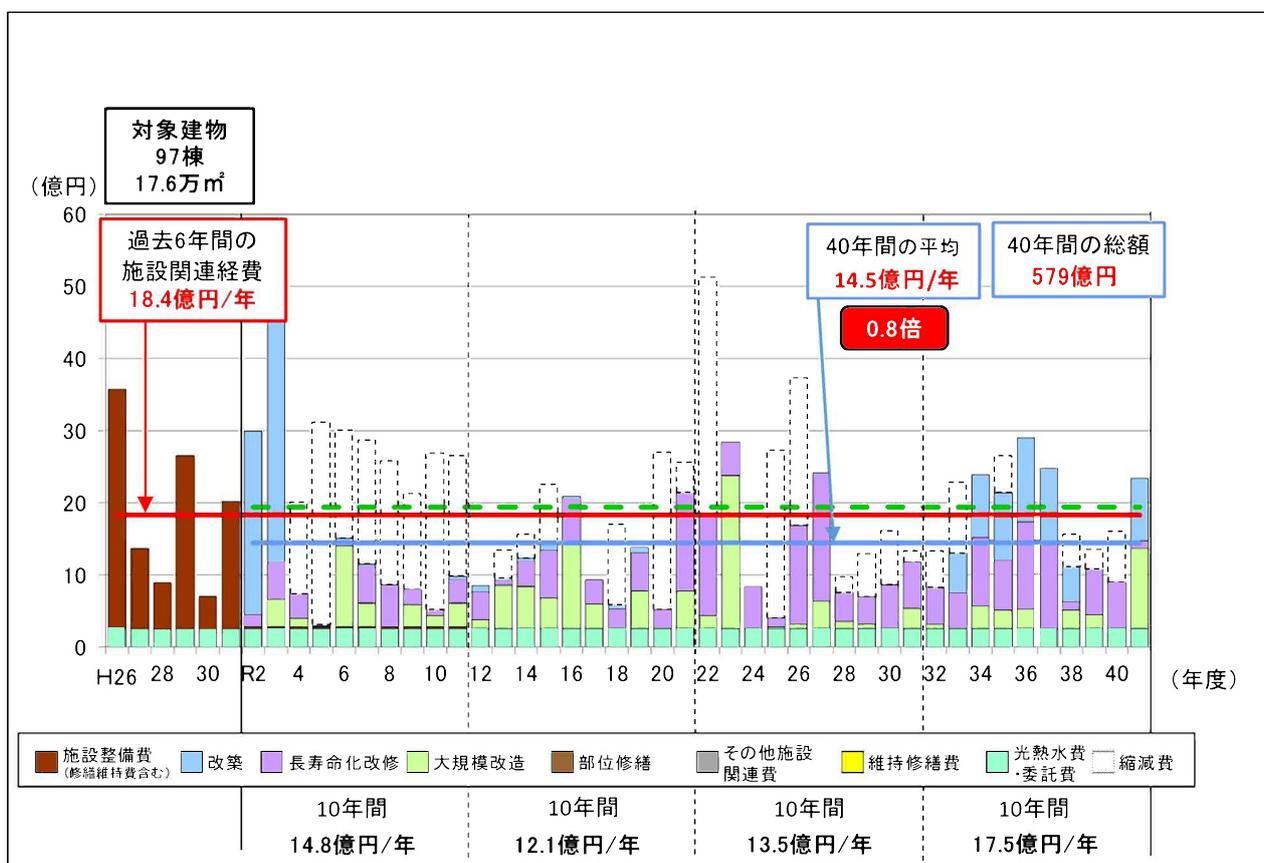
施設名	通し番号	建物名	構造※	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	健全度(100点満点)	グループ							
						西暦	和暦			A	B	C	D	E			
中学校																	
1	一関中学校	53	校舎1	RC	2	3,675	1979	S54	41	20		●					
		54	校舎2	RC	1	216	1992	H4	28	75					○		
		55	体育館	S	1	1,432	1993	H5	27	75					○		
		56	武道館	S	1	448	2010	H22	10	100					○		
2	磐井中学校	57	校舎1	RC	4	4,700	2014	H26	6	100					○		
		58	校舎2	RC	3	2,414	1980	S55	40	81				●			
		59	体育館	S	2	1,665	1997	h9	23	82					○		
3	一関東中学校	60	武道館	S	1	448	2010	H22	10	100					○		
		61	校舎	RC	2	2,977	2007	H19	13	93					○		
62	体育館	62	体育館	S	1	1,222	2007	H19	13	100					○		
		63	校舎1	RC	3	3,113	1981	S56	39	49			●				
4	桜町中学校	64	校舎2	RC	3	1,207	2015	H27	5	100					○		
		65	体育館	S	1	1,417	1993	H5	27	75					○		
5	萩荘中学校	66	校舎	RC	3	3,023	1970	S45	50	32	●						
		67	体育館	S	1	1,167	2010	H22	10	100					○		
6	巖美中学校	68	校舎	RC	2	2,891	1996	H8	24	65				●			
		69	体育館	S	1	1,372	1997	H9	23	75					○		
7	舞川中学校	70	校舎	W	2	1,347	1952	S27	68	28	●						
		71	体育館	S	1	858	1986	S61	34	65				●			
8	花泉中学校	72	校舎	RC	4	6,037	2004	H16	16	91					○		
		73	体育館	RC	2	1,819	2004	H16	16	98					○		
		74	武道館	S	1	651	1986	S61	34	72				●			
9	大東中学校	75	校舎	RC	2	3,693	2001	H13	19	71				●			
		76	体育館	S	1	1,428	2002	H14	18	81					○		
		77	プール上屋	W	1	741	2003	H15	17	68				●			
10	千厩中学校	78	校舎	RC	3	5,669	1999	H11	21	75					○		
		79	体育館	RC	1	1,555	1999	H11	21	82					○		
		80	武道館	S	1	588	2002	H14	18	91					○		
11	東山中学校	81	校舎1	RC	2	2,180	1969	S44	51	29	●						
		82	校舎2	RC	3	1,405	2013	H25	7	100					○		
		83	体育館	S	1	1,202	2008	H20	12	100					○		
		84	武道館	S	1	417	1974	S49	46	29		●					
12	室根中学校	85	校舎1	RC	3	3,581	1971	S46	49	20		●					
		86	校舎2	W	1	246	1983	S58	37	52				●			
		87	体育館	RC	1	1,125	1972	S47	48	43			●				
		88	武道館	S	1	427	1982	S57	38	65				●			
		89	部室	S	1	276	1998	H10	22	75					○		
13	川崎中学校	90	校舎	W	2	3,020	2011	H23	9	100					○		
		91	体育館	S	1	1,214	2011	H23	9	100					○		
		92	武道館	S	1	400	1983	S58	37	82					○		
14	藤沢中学校	93	校舎1	RC	3	3,259	1975	S50	45	23		●					
		94	校舎2	RC	2	482	1984	S59	36	75					○		
		95	体育館	S	2	1,155	1970	S45	50	40	●						
		96	武道館	S	1	357	1980	S55	40	43			●				
		97	部室	S	2	227	1990	H2	30	75					○		
※ W: 木造										中学校建物 計	4	4	3	8	26		
S: 鉄骨造										中学校建物 計	45						
RC: 鉄筋コンクリート造										小中学校建物 計	11	7	5	15	59		
										小中学校建物 計	97						

2 長寿命化のコスト見通し、長寿命化の効果

一関市における今後の維持・更新コスト（長寿命化型）を文部科学省による「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を参考として試算すると、建築後20年で予防保全的な改修として大規模改造、建築後40年に長寿命化改修、建築後60年に原状回復等の大規模改造、建築後80年に改築するものとして計算した場合、今後40年間の維持・更新コストは約579億円（約14.5億円/年）かかる結果となりました。

従来型と比較し、経費が年間約4.95億円、40年間で約198億円の圧縮となりますが、一関市においては、令和3年3月時点において建築後40年から50年の建物が集中していることから、改築時の費用を圧縮する方策等の検討が必要となっています。

図：今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



第5章 学校施設長寿命化計画の継続的運用方針

1 情報基盤の整備と活用

本計画を推進するにあたっては、これまでと同様に学校施設の状況や改修履歴などを施設情報として一元管理し、蓄積・更新することが重要です。

このことから、学校施設の長寿命化では以下の情報を総合的に分析し、今後の改修内容や時期などを判断します。

- ① 学校施設の基本情報（学校施設台帳など）
- ② 改修、修繕の履歴
- ③ 点検時の指摘事項（定期点検、法定点検の結果）
- ④ 各学校からの報告や修繕の要望

各施設情報は、施設状況に変化が生じた際や改修、報告が行われた際に適宜更新するほか、毎年度、全ての学校施設について内容を確認します。

2 推進体制の整備

学校や教育委員会、市の管財・財政・建設等の関係部署、点検実施業者などの連携を深め、推進体制の充実を図ることにより本計画に基づく、長寿命化及び改修等を確実に推進していきます。

3 フォローアップ

本計画に基づき、効率的、効果的な学校施設の長寿命化を進めていくため、PDCAサイクルを実施していきます。

- | | | |
|-------------------------------|--------------------|------|
| ① 施設の状況を把握した上で、それを踏まえた実施計画を策定 | P l a n | （計画） |
| ② 計画に基づく日常的な維持管理や適切な改修を実施 | D o | （実行） |
| ③ 整備による効果を検証し、整備手法の改善点などを整理 | C h e c k | （評価） |
| ④ 改修の実施及び次期計画に反映 | A c t i o n | （改善） |

また、事業の進捗状況、劣化状況調査の結果を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

一関市学校施設長寿命化計画
(一関市公共施設等総合管理計画 個別施設計画)

【第1期計画 令和3年度～令和8年度】

令和3年3月策定

主 管：一関市教育委員会 教育部 教育総務課
所 在 地：〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
電話番号：0191-21-2111